



銅像山通信 第21号

浅野学園同窓会会報・平成30年

発行日：平成30年4月30日 発行人：浅野学園同窓会



目 次

〈ご挨拶〉

学校長	前田 渉	2	平成29年度 浅野学園同窓会総合報告	9
浅野学園同窓会会長	中村 順一	3	同窓会の案内	9
〈特集〉現役の浅野生による藪田訪問記		4	掲示板	9
平成29年度 各クラブの参加状況と活動実績		6	編集後記	9
委員会から (財務・総務・親睦・広報)		8	平成30年度 大学合格者の学部および現役・	
平成28年度 同窓会収支報告・29年度同窓会役員		8	既卒別内訳	10

ご挨拶

浅野学園校歌を思う

浅野中学・高等学校長
前田 渉 (50期)



「大正14年（1925年）6月22日校歌出来る。作詞、高野辰之氏。作曲、信時 潔氏。校歌の言葉に付いては佐藤正範氏石田吉貞氏いろいろ助言をされる。」本校40周年誌にはこのような記載があります。大正9年（1920年）4月12日136名の入学を許可し、子安丘上の新天新地始業式を行ったと水崎基一校長から恩師徳富蘇峰への手紙が残っています。

大正12年（1923年）9月1日関東大震災で甚大な被害を被った様子を、水崎先生は次のように蘇峰に伝えています。「学校は校舎全部崩壊致し夫れが為め應急の教場を山下の工場江造る為め毎日忙しく暮らし居たるも昨日にて略ぼ工事も終わり来月1日よりは半数の生徒式百五十名位には寺子屋式の教授をなし得るに至り候、(中略)」

震災で、生徒の命を、さらに校舎を失うも、1か月後には授業を再開。そして震災の2年後、大正14年（1925年）3月10日に第一回卒業式が行われ、卒業生58名を送り出しました。そして卒業式から3か月後に浅野学園校歌は誕生しました。校歌のなかで最も秀逸であり、浅野スピリットをうたい上げているのが3番の歌詞です。卒業後も、3番の歌詞が脳裏をよぎり、思わず口ずさむ経験をした卒業生は多いのではないのでしょうか。第1回卒業式が終わり、その3か月後に校歌が誕生したのはなぜか。なぜ校歌は卒業式に間に合わなかったのか、今、この謎を解明することは不可能になっています。私が高校三年生の現代文の時間に、村上先生が校歌の歌詞を決めるのに難航したというエピソードをお話されたことを覚えています。

40周年誌の対談のなかに校歌に関する実に面白い対談があります。

対談するのは以下の5先生です。

- 石田 本校国語科教諭 石田吉貞先生、
後に大正大学名誉教授
- 浜野 本校第3代校長 浜野駿吉先生
- 神名 本校第2代校長、理事長、学園長を歴任した
神名勉聰先生
- 佐藤 佐藤信太郎先生、数学科教諭 教務部長
- 三堀 三堀浩一教諭 国語科教諭

石田 私が赴任したのが大正14年4月でした。水崎先生が私にできたばかりの校歌を見せてくれたんですが、その時は、「南に海原西には高嶺」ではなくて、「南に蒼海、西には秀峰」でしたね。「九天十起…」のところは「かせぐに追いつく貧乏なし」。これは私は俗すぎると思ったな。「かせぐに…」というのは浅野さんが口癖に言っていたことばなんだが…。これは水崎さんが直した…

浜野 蘇峰さんの書いた文章に「九天十起」ということばがありますね。

神名 そうするとあそこは蘇峰さんが直したのかな。

浜野 おそらくそうですね。

石田 それから「…なしたる果てに…」というところね、あれを「果てに…」というのは人が死ぬときに使う言葉だから…という先生があったが、「揚句の果てに」というようにも使われるんだから、別に私はさしつかえないと思うんだが、それよりね、「われらの学校」ね。あれはどうも小学校みたいで…ここは「学び舎」とかなんとかしたらどうかと言ったんだか、そうすると曲に合わないし…あれはあのままになってしまった。まあ曲のほうはいいらしいが、作詞は全般にまずいと思いますね。一番まずいところが「われらの学校」。実に幼稚ですね。

佐藤 校歌については戦争中に歌詞を変えて、終戦後直ったのがありますよ（ママ）。

浜野 戦争中は「身を立て…」は「身を捨て」、「道を尽くして」は「国に尽くして」に変えさせられたんです。時の知事から国策に沿って歌詞を変えるようにと言われて…それを終戦後「身を捨て国に尽くして後に」がもとに戻って「身を立て道を尽くして後に」となったので、それ以外に直したところはあります。

三堀 「身を立て」というのは、自分だけの立身を計ってはいかんということでしたね。

「故郷」「もみじ」「春の小川」などを作詞した高野辰之が書いた歌詞を、水崎先生、石田先生など当時の先生方が一部改変して、浅野学園校歌は誕生しました。

平成27年度卒業生が、「浅野で得たものは」という問いに対して、〈つながり〉であると文集『銅像山』に書いてくれました。〈つながり〉という言葉の中には、友人・仲間が存在が最も大きなものであることは間違いありません。そして校歌も大きな〈つながり〉の役割を果たしていると言えるのではないのでしょうか。二万人を超えた同窓生を結びつけているのもこの校歌であると言っても過言ではありません。卒業後、ふと校歌を口ずさむときに、この歌詞に込められた浅野スピリットを思い返せるのは幸せなことだと実感します。

同窓会活性化の実現に向けて 一特に若手会員の参画に

期待—

浅野学園同窓会会長
中村 順一 (30期)



同窓会会長に就任してはや5年目を迎えました。就任以来、他の役員・運営委員の方々と、学園同窓会の組織・活動の活性化に取り組んでおります。その一環として、従来からの懸案でありました、400名を超える現行幹事会に代え、規約に従い、新たに各年次から1ないし2名の幹事を選出し、その氏名を、きたる6月の総会に報告すべく、目下準備を進めております。

浅野の卒業生は、約2万名に達すると言われております。他界された方も多いわけですが、お元気に活動されている方も半数以上おられると推察されます。にも拘らず、現在、近況が得られ、コンタクトが確保されている会員の数は、二千数百名にとどまっております。この状況にかんがみ、今後引き続き、会員名簿の整備に努めつつ、近況が得られる会員の数を少なくとも倍増し、学園同窓会の活動に係わる方を大幅に増やすことを目標にしたいと存じております。

すなわち、今回の新幹事の選出によって、年次同窓会との連携が促進されることを期待し、また同時に、各分

野、各業種、各地域、更に、職場、大学などにおける先輩・後輩という、「浅野」の「タテ」の関係がより緊密になるよう、学校当局ともご相談しながら、学園同窓会の拡がりを志向してまいりたいと考えております。

そのためには、会員の皆様の、ご支援・ご協力が不可欠です。特に、若手会員の方々の盛り上がりと参画が望まれます。平成13年以降の卒業生からは、終身会員として同窓会会費を全額払込んで頂いております。最近、近年の生徒会会長経験者の方々からもご意見をお伺いしました。色々なご意見・ご希望をお伺いしながら、若手会員の関心と興味が得られるような同窓会を心掛ける所存です。

創立100周年を間近に控え、最近の「浅野」の評価は、誠に目覚ましいものがあります。全国有数の進学校となりながら、のびのびとした校風とクラブ活動との両立が確保され、熱心な先生方に恵まれているという、従来からの伝統は少しも変わっていません。私は、「浅野」が、進学校であると同時に、中学・高校の6年間という、重要な人格形成期に合致する、ユニークで貴重な人材輩出校になることを、期待し、かつ、確信しております。

学園同窓会としても、このように素晴らしく、右肩上りの「浅野」にふさわしい同窓会となるべく、自らの組織・活動の活性化を図るとともに、100周年を迎える「浅野」の今後を支える同窓会としての役割をも果たしていきたいと存じます。会員の皆様からのご意見・ご提言と、お知り合いの方々を含め、ご近況をお聞かせ頂きたく、本年のご挨拶を兼ねて、一筆認めさせて頂きました。

中村順一会長のWeb版エッセー

『これだけは世界に発信したい 日本についての18章』の内容紹介

日本の衣食住

- 第1章 日本の衣 (和服)
- 第2章 日本の食 (和食)
- 第3章 日本の住 (和室)

日本語

- 第4章 日本語 (そのⅠ) —世界に類のない言語
- 第5章 日本語 (そのⅡ) —感性重視の言語

日本の感性と東洋の叡智

- 第6章 日本の感性と東洋の叡智
- 第7章 移ろい—気配、面影、余韻と余白、間 (ま)
- 第8章 さりげなさ—細やかさ、奥ゆかしさ、素朴さ、静けさ
- 第9章 もののあはれ—雅 (みやび)、わび・さび、粹
- 第10章 察する—思いやり、気遣い、心配り、おもてなし
- 第11章 和の文化—和と融和、和む、和らぐ、和する、和える
- 第12章 寛容と包容—複数価値の容認、表決の会費
- 第13章 道と「こころ」—本質の見極めと内面の重視
- 第14章 無と空の思想—禅、来世のない世界、先端科学との接点
- 第15章 自然との共生・一体化—自然の取り込み

- 第16章 自立と分別—自らに厳しく、たしなみ、けじめ
- 第17章 世間と人間—関係重視、縁、恥、義理人情
- 第18章 京都からの発信—京都には和と洋の東西が凝縮して現存

浅野学園同窓会中村順一会長のWeb版エッセー『これだけは世界に発信したい 日本についての18章』として外国人むけに日本についてそして外国人が日本について興味を持つ点を日本の方々にも知ってもらいたいという想いを込めて執筆されました。第1章から第5章までは、下記アドレスで公開されております。

URL:<http://arica.co.jp/nakamura.html>

すべてをご覧になるには、有料 (税込み 1000 円) となりますので、ktanaka@arica.co.jp に件名【中村順一エッセー】としてメールアドレスと氏名を明記し送信の後、下記にお振込み後、申込者に送信されます。

お振込先

ゆうちょ銀行 有限会社アリカエンタープライズ
記号 14010 番号 11484491

<特集>

現役の浅野生による藪田訪問記

平成29年7月28日・29日の1泊2日で、生徒会ローレル編集委員の生徒諸君4名と教員1名で、浅野総一郎翁生誕の地である富山県氷見市に、生徒会機関紙『ローレル』の取材で訪れました。今回は特に総一郎翁関連の記事を中心に、『ローレル』掲載の記事を抜粋してご紹介したいと思います。

1日目 新高岡駅→氷見市役所→雨晴海岸→氷見沖クルーズ→藪田→九転十起交流館

2日目 朝セリ→高岡大仏・瑞龍寺→庄川水記念公園→小牧ダム→庄川遊覧船→新高岡駅

はじめに

私たちローレル編集委員の中の生徒4名+教員1名は、浅野総一郎生誕の地である富山県氷見市に、1泊2日で行って来ました。この旅では浅野総一郎関連での地域振興活動を現地で行われている九転十起交流会の山崎健さん、小伏脇健郎さんにご案内頂き、上の表の順番で富山県の名所や浅野総一郎の足跡を巡りました。

普段の生活ではあまり関わりのない富山県、氷見市、また浅野生としてある程度は知っておきたい総一郎のことを知ってもらえたらうれしく思います。

富山県について

産業について見ると富山県は耕作地あたりの水田の割合が大きく日本一となっていますが、産業別就業人口で見ると第二次産業の割合が全国平均より大きいです。また、「富山の薬売り」で有名なように人口一人当たりの医薬品資産金額は2位の倍の金額で1位となっています。

富山県で一番有名なものといえば、おそらく黒部ダムではないでしょうか。513億円、約1千万人、約7年、171名の犠牲のもと建てられたダムで、黒部川沿岸にある発電所と合わせると100万人が1年間に使うのと同じくらいの量の電気が発電できます。6月26日～10月15日は観光放水をしているそうです。

しかし今回は浅野総一郎が建設に関わった小牧ダムへ行きました。両方とも北陸にありますが、現在は関西電力が管理しています。

いざ浅野総一郎生誕の地へ

一行は最大の目的地へ向かうことになった。浅野総一郎の生誕地の藪田である。藪田は氷見の中心部から北に少し離れており、車で10分ほどの道のりだった。

国道160号線の脇には切り立った峠があり、若き総一郎が町へと何度も通っていた道のりだと教えてもらう。足腰が相当鍛えられそうな険しい道だ。

程なくして藪田に到着。車を降りて辺りを見回す。目の前に広大な海、背に山がすぐ迫っている。漁港もあり、まさにのどかな漁村という感じはしない。瓦ぶきの伝統ある家々。「昭和のまま時間が止まった感じ」と言った委員がいるのも分かる。

当日はくもりで視程が良くなかったが、晴れの日是对岸の新湊大橋や雪化粧の立山アルプスも望めるらしい。

藪田の見どころ

①九転十起の像・生誕碑

国道のすぐ脇に看板が立ち銅像も見える。学園の銅像に比べるとはるかに小さく、背丈ほどしかない。記念撮影をする。少し離れて総一郎生誕125年記念碑（45年前）もあるが、こちらは石を積み重ねたもの。すぐ裏は生家跡だ。



帰望郷館の外観

気になったのは、銅像のある公園内に子供達が1人も遊んでいないこと。せめて総一郎目当てにもう少し賑わってほしいと思うのだが……。

②光福寺・浅野家の墓

薬師山光福寺には浅野家代々の墓がある（総一郎自身は鶴見の総持寺の門徒だが）。境内はセミの声がまさに沁み入るような静かな雰囲気。浅野家の墓は代々村の有力な家柄だったため、墓は墓地の一番高い位置にある。なお、他にも江戸時代に作られた墓がいくつかあり、歴史ある村だと感じさせてくれる。

③総一郎生家跡・裏山

総一郎の生家自体は無くなり、今は石碑が置いてあるのみ。当時はすぐ前が砂浜で、戸口を開ける度に、海が見えた。それで総一郎は対岸の伏木港に出入りする帆船をよく見て、大商人になる夢を抱いたのだと山崎さんは言う。

そして何と銅像山に生える木はこの裏山から持ってきているそうだ。こうした小ネタも面白い。

④山崎善次郎翁頌徳碑

氷見で浅野総一郎のよき理解者だった山崎善次郎を頌徳（たたえること）する碑。善次郎の死後、成功した総一郎が口添えして建てたものだからか、渋沢栄一が揮毫している。藪田の村を少し奥に入ったところに存在する。

九転十起の像

富山県氷見市藪田国道160号線脇

☎0766-74-4018（九転十起交流会）

能越自動車道氷見北ICより10分

JR高岡・新高岡駅より加越能バス「脇／中田」行き「藪田」下車

①銅像

浅野総一郎生誕160周年を記念して作られた銅像。銅像3m、台座3mの全長6mである。

②黒石と白石

銅像に向かう石の道の両端に白い石と黒い石が敷かれているのだが、黒石は、「苦労と勤勉の暁に夢が叶う」、白石は、「度胸と努力の暁に夢が叶う」ことの象徴とされており、これを踏むと努力も度胸も逃げてしまうようだ。普通に踏んで歩いていた某編集委員長が心配……。

③夢を掴んだ黄金の左手

この左手は、総一郎が、事業を起こしては失敗・挫折を繰り返しながらも、度胸・努力・勤勉を座右の銘として自分の人生の夢を掴むことに邁進した結果、この左手で、自分の夢を掴んだ、ということを表して、触れると夢が叶うとされている。

④植樹

九転十起の像の完成にあたって、銅像の左右には神奈川県知事や富山県知事が記念樹を植樹している。総一郎は京浜工業地帯の礎を築いた人物であり、神奈川県としては喜んで植樹をした、といったところであろうか。そういった観点から見てみるのも興味深い。

九転十起交流館（帰望郷館）を訪ねて

交遊館へ

一行は九転十起交流館へと向かった。この交流館は、築90年ほどの建物で、囲炉裏や土間もあった。もとは漁師小屋であったので、目の前には漁船の船着き場がある。交流館では、総一郎関連の資料や模型などが展示されていた。総一郎関連の資料といっても多岐にわたり、中には総一郎が晩年手がけた鶴見線や南武線の建設についての資料まであった。もう少しじっくりと見学したいところだが、あまり時間がなかった。

また、「稼ぐに追いつく貧乏なし」や、「4時間以上寝ると馬鹿になる」などの浅野総一郎の座右の銘も壁に飾られていた。

夕食会へ

しばらく資料を眺めていると辺りが暗くなり、交流館で九転十起交流会の方と夕食をいただくことになった。食事があまりに豪華で、そして美味であったので、ここに載せるのももったいないという気さえしてしまう。今回の富山への取材旅行は、ローレルとしては初の試みで、運良く行くことができた。おいしい食事に囲まれて、改めてそのありがたさを噛みしめた。富山の名産として知られるブリは冬に獲れるので残念ながら食べることが出来なかったが、生牡蠣が出てきたので驚いた。交流会の方が、「この牡蠣は普通の牡蠣とは違って岩牡蠣なので食中毒の心配がない。夏でも安心して食べられるよ。」と話しており、当然誰も当たらなかった。その他の魚介も本当に新鮮なんだと感じさせてくれる美味しさで、全員が感動した。夕食会は終始和やかな雰囲気、他愛もない話で盛り上がった。とても豪華で美味しい食事で私たちをもてなしてくださった九転十起交流会の方たちには、この場を借りて厚く感謝申し上げます。



昔ながらの日本家屋

九転十起交流会について

食事をご一緒した方々が所属している九転十起交流会は、浅野総一郎の偉大な業績を探求し、その足跡を後世に伝承するとともに、その業績等にゆかりのある人々と企業、地域等の交流を図り、地域の活性化に寄与することを目的として、2011年に結成された。今回の取材旅行で、車の運転をしてくださった一人である山崎さんはこの交流会の理事長であり、当時浅野総一郎の地元後見人であった山崎善次郎のやしゃごにあたる。交流会の事業として浅野総一郎の伝記の再編に取り組みされており、委員は事前学習として浅野総一郎の伝記を読み、彼への理解を深めることができた。この伝記は昭和初期に書かれた書物を再編したものであり、編集には大変な時間がかかると仰っていた。現在、続編を編集されているようで、発行が待ち遠しい。

夕食をいただいた後、宿泊施設へと移動し、1日目は無事終了した。

1日目を終えて

1日目は昼からの取材であったが、とにかく密度が濃かった。印象に残っているのは、氷見市教育長への表敬訪問と、総一郎の生誕地に行ったことである。今回の取材旅行は、ローレルの特集企画としてのものであったので、まさか氷見市の教育長の方に注目していただけたとは思わなかった。また、総一郎の生誕地への訪問には、地元紙の記者の方が取材に来ており、翌日の新聞の記事に取り上げていただいた。こういった形でローレルが注目されるのは、一委員としては嬉しい限りである。総一郎のふるさとである藪田は、誤解を恐れず言えば、どこかのんびりとした雰囲気であった。この場所で近代日本の発展に大きな貢献をした大実業家が誕生したということは非常に不思議な感じがした。

2日目は、総一郎が壮年期に建設に取りかかった小牧ダムに向かう。ここでも総一郎の理解を深めたい。

おまけ

氷見市は、漫画「忍者ハットリ君」の作者の藤子不二雄[Ⓐ]氏の出身地としても知られている。



ミニチュアだが存在感のある総一郎の銅像

浅野総一郎伝 九転十起編

平成29(2017)年度 浅野中・高等学校各クラブの参加状況と活動実績

クラブ名	部員数	主な活動実績	クラブ名	部員数	主な活動実績
アーチェリー部	51名	長期休業中校外練習 夏休み合宿(白馬)4泊5日/高校強化練習会(高体連)横浜J強化練習会、本校実施校外練習(中央区スポーツセンター、平和の森公園アーチェリー場) 戦績 横浜市春季大会 高校男子 優勝 清水真秀(588点)、準優勝 櫻井涼(554点)/横浜市夏季大会 高校男子 優勝 清水真秀(588点)、準優勝 吉澤亮(576点)/神奈川県キャデット大会 30mの部 準優勝 吉澤亮(606点)、第3位 増山龍星(601点)/高校秋季大会(関東選抜予選) 個人 清水真秀 4位(563点)、関東選抜出場決定、団体 4位(1534点/2160)/神奈川県後期国体ジュニア強化指定選手 藤田和也/横浜市長杯大会 準優勝 櫻井涼(582点/720)/神奈川県高校1年新人大会 団体 4位/高校関東選抜大会(本選) 清水真秀 決勝ラウンド進出(57位、全国選抜大会出場決定)/横浜市長杯大会 優勝 清水真秀(628点/720)/第2回神奈川県インドア大会 優勝 増山龍星(503点/600)/県高校インドア大会(2016) 団体3位	卓球部	86名	中学：県私立中体連40周年記念卓球大会の男子団体戦 団体の部 第3位、中2シングルの部/夏季神奈川県中学校卓球大会 優勝 井上旭(3年)・第5位 富川駿平/秋季神奈川県中学校卓球大会 新人の部 優勝 前田祐輔(2年)・第5位 古高優樹、中1の部 第3位 上高拓也/神奈川県私立中学校秋季卓球大会 団体の部 第3位、中学3年の部 第5位 富川駿平、中学2年の部 第3位 前田祐輔、中学1年の部 第5位 渡邊俊太 高校：県総体兼全国総体神奈川県予選 ショウコウ(1年) 出場/県総体兼全国総体神奈川県予選 団体戦 2回戦 対向の岡工業3-0、3回戦 対東海大相模 0-3/神奈川県新人大会 シングルス 村澤孝典(2年)・小島悠介(1年) 出場/神奈川県新人大会 団体戦 2回戦 対大和西 1-3
アメリカンフットボール部	23名	中学：関東中学生アメリカンフットボール選手権春季大会 1回戦敗退/関東中学生アメリカンフットボール選手権秋季大会 1勝3敗1分け(慶應Jr.ユニコーンズ・川崎Jr.オレンジとの合同チームとして参加) 高校：神奈川県高校アメリカンフットボール春季大会 Cブロック 2位/神奈川県高校アメリカンフットボール秋季大会 1回戦敗退/神奈川県高校アメリカンフットボール新人大会 Aブロック 4位松陽高校・上鶴間高校との合同チームとして参加)	テニス部	132名	中学：横浜ジュニアテニス2017 ベスト8 渡邊一帆(現高1)/横浜地区中学校1年生テニス大会 団体戦(現中2) 1回戦/神奈川県中学校テニス大会 個人戦 シングルス ベスト32 中嶋俊哉、個人戦ダブルス ベスト32 小出脩斗・関沢裕介、団体戦 1回戦/神奈川県私立中学校テニス大会 団体戦 Aトーナメント 2回戦、団体戦Bトーナメント Bチームベスト8・Cチーム2回戦・Dチーム1回戦/神奈川県中学校新人大会 個人戦 シングルス ベスト64 中嶋俊哉、個人戦ダブルス ベスト64 土屋壮太・中嶋俊哉、団体戦 3回戦/横浜地区中学校新人テニス大会 団体戦 1回戦 高校：横浜地区高等学校テニストーナメント 3回戦/神奈川県高等学校テニス大会 団体戦 2回戦/横浜地区高等学校テニスリーグ 2部リーグ 第2位/神奈川県高等学校新人大会 個人戦 シングルス ベスト64 榎谷和希、個人戦ダブルス ベスト64 榎谷和希・渡邊一帆、団体戦 3回戦
剣道部	29名	中学：神奈川県中学校剣道大会 団体 第3位/横浜市中学校剣道大会 出場 高校：関東高等学校剣道大会・県予選 個人戦(約540名出場) 岡田大河 5回戦進出/関東高等学校剣道大会・県予選 団体戦(約130校出場) 2回戦敗退/全国高等学校総合体育大会剣道競技・県予選 団体戦(約130校出場) ベスト32/全国玉竜旗高等学校剣道大会(福岡県) 団体戦(約550校出場) 3回戦進出/神奈川県高等学校剣道新人戦大会 個人戦(約540名出場) 太田衛 4回戦進出	登山部	20名	特に報告することはありません。
サッカー部	102名	中学：(現中3メイン)：平成28年度神奈川県サッカー大会横浜市Bブロック予選会(2016年11~12月) 予選リーグ グループ3位・予選敗退/平成28年度神奈川県私立中学校サッカー新人大会(2016年12月) グループ1位(私学リーグシード権獲得)/平成29年度横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会横浜市Bブロック予選会(2017年4月) 予選リーグ グループ1位、決勝トーナメント 準々決勝敗退・ベスト8/2016/2017神奈川県U-15サッカーリーグ2部リーグ(2017年1~6月) 1stステージ グループ4位、2ndステージ 不参加/平成29年度神奈川県中学校総合体育大会横浜地区予選会(2017年7月) 5回戦敗退・ベスト16/高円宮杯第29回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会神奈川県大会(2017年8月) 2回戦敗退/平成29年度神奈川県私立中学校サッカーリーグ(2017年6~10月) グループ予選 グループ1位、決勝トーナメント 準々決勝敗退・ベスト8 (現中2メイン)：平成29年度神奈川県中学校サッカー新人戦(2017年9~10月) 予選リーグ グループ1位、決勝トーナメント 準決勝敗退・3位(県大会市予選第3シード権獲得)/平成29年度神奈川県中学校サッカー大会横浜市Bブロック予選会(2017年11月) 高校：第60回関東高校サッカー大会神奈川県予選(2017年4月) 二次予選 1回戦敗退/第55回全国高等学校総合体育大会サッカー大会神奈川県予選(2017年5~6月) 一次予選、3回戦敗退/第96回全国高校サッカー選手権大会神奈川県大会 一次予選 2回戦敗退/第9回高円宮杯神奈川県U-18サッカーリーグ(2017年3~10月) Aチーム 3部(K3) Cグループ3位 3部残留、Bチーム 4部(K4) Jグループ8位/平成28年度神奈川県高等学校サッカー新人大会横浜地区予選(2017年10~11月) 予選リーグ Oグループ1位、シード決定トーナメント出場(2018年1月) 初戦敗退、予選リーグ グループ3位 予選敗退	バスケットボール部	52名	中学：特に報告することはありません。 高校：第71回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会兼平成28年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会 東支部トーナメント 1回戦敗退、第55回神奈川県高等学校総合体育大会バスケットボール競技兼平成29年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技神奈川県予選会兼第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 東支部トーナメント 1回戦敗退/平成29年度横浜地区高等学校バスケットボール大会 1回戦敗退/平成29年度神奈川県高等学校バスケットボール大会 東支部トーナメント 1回戦敗退/平成29年度横浜地区高等学校バスケットボール選手権大会兼平成29年度横浜市民大会バスケットボール競技(高等学校の部) 2017年度YOKOHAMA CUP 1次トーナメント 2回戦
柔道部	41名	中学：平成29年1月 横浜市中学校柔道大会新人戦 -66kg級 大村蒼 ベスト16/神奈川県中学校柔道大会新人戦 -66kg級 大村蒼 出場/6月 第85回神奈川県主秋季柔道大会 敢闘賞 川上健/7月 横浜市中学校柔道大会 -66kg級 大村蒼 5位、-60kg級 上原知也 ベスト16/神奈川県中学校柔道大会 -60kg級 上原知也 出場、-66kg級 大村蒼 2回戦負け/11月 日神杯横浜市長杯柔道選手権大会 中学2年生の部 敢闘賞 川上健/12月 神奈川県私立中学校柔道大会 団体の部 準優勝 高校：第65回関東高等学校柔道大会県予選会 個人出場、5月 団体出場/5月 第55回神奈川県高等学校総合体育大会兼平成29年度高等学校総合体育大会 男子・女子個人出場、男子出場、6月 団体出場/7月 第72回国民体育大会 男子少年の部 県予選会 男子個人出場/10月 平成29年度神奈川県高等学校柔道新人大会 団体出場/1月 第40回全国高等学校柔道選手権大会 県予選会 個人・団体出場	バドミントン部	90名	中学：平成28年度神奈川県中学校バドミントン1年生研修大会 男子シングルス 2位 小室洋翔(1年)、男子ダブルス 優勝 森真悠(1年)・松田尚大(1年)ペア、男子ダブルス 3位 長子武史(1年)・白井勇翔(1年)ペア/平成29年度神奈川県中学校春季バドミントン大会 団体戦 3位、個人戦 出場/平成29年度神奈川県中学校夏季バドミントン大会 団体戦 出場、個人戦 男子シングルス 3位 小室洋翔(2年)/平成29年度神奈川県中学校秋季バドミントン大会 団体戦 2位、個人戦 男子シングルス 2位 小室洋翔(2年)、男子ダブルス 2位 森真悠(2年)・松田尚大(2年)ペア、3位 長子武史(2年)・白井勇翔(2年)ペア/第43回神奈川県私立中学校バドミントン大会 出場/平成29年度神奈川県中学校冬季バドミントン大会 個人戦 男子シングルス 優勝 小室洋翔(2年)・3位 和田陸羽(2年)、男子ダブルス 2位 森真悠(2年)・松田尚大(2年)ペア、3位 長子武史(2年)・白井勇翔(2年)ペア/第44回横浜市中学校バドミントン大会 男子シングルス 出場 小室洋翔(2年)、和田陸羽(2年) 高校：1月 横浜地区冬季バドミントン大会 出場/4月 関東高等学校バドミントン大会神奈川県横浜北地区予選 出場/5月 全国高等学校総合体育大会バドミントン大会神奈川県予選 学校対抗戦、個人戦ダブルス 出場、個人戦シングルス 榎谷俊樹 横浜地区8位(県大会出場)/7月 神奈川県私立高等学校バドミントン大会 出場/8月 横浜地区夏季バドミントン大会 出場/9月 神奈川県高等学校バドミントン新人大会 出場
水泳部	61名	中学：7月21~22日 全国中学校水泳競技大会県予選会(横浜国際プール) 井芹珠人 200m個人メドレー・400m個人メドレー 出場/8月8・10日 関東中学校水泳競技大会 井芹珠人 200m個人メドレー 決勝8位、400m個人メドレー 出場/7月30日 横浜市民大会(横浜国際プール) 出場/8月21日 神奈川県私立中学校水泳競技大会(横浜国際プール) 出場 総合成績 第3位 高校：6月23~25日 神奈川県総合体育大会兼関東高等学校水泳競技大会神奈川県予選会(横浜国際プール) 出場/7月31日 横浜市民大会(横浜国際プール) 出場/8月26・27日 神奈川県高等学校水泳競技大会(横浜国際プール) 出場/8月22日 横浜地区大会(横浜国際プール) 出場	バレーボール部	28名	中学：平成28年度神奈川県私立中学校バレーボール冬季大会 出場/平成29年度神奈川県私立中学校バレーボール夏季大会 出場 高校：横浜市民大会 ベスト8/関東大会横浜地区予選 ブロック優勝(ベスト16)、神奈川県予選 ベスト32/インターハイ予選 出場/横浜地区夏季大会 ブロック第3位 横浜市内高校選手権 出場/春季予選 出場/横浜地区秋季大会 ブロック3位(ベスト16)、新人戦横浜地区予選 ブロック2位(ベスト16)、神奈川県大会 出場

クラブ名	部員数	主な活動実績	クラブ名	部員数	主な活動実績
ハンドボール部	26名	<p>中学：神奈川県選手権大会（平成29年1～2月、打越アリーナほか）1回戦敗退/私立中学校選手権大会（平成29年2月、横浜国際プールほか）4位/県春季選手権大会（平成29年4～5月、県内中学）2回戦敗退/市中学校総合体育大会（平成29年7月、平沼記念体育館ほか）1回戦敗退/市秋季大会（平成29年9～10月、平沼記念体育館ほか）予選リーグ敗退</p> <p>高校：神奈川県選手権（平成29年1～2月、打越アリーナほか）ブロック優勝・県ベスト12/関東大会県予選（平成29年4～5月、県内高校）県ベスト16/全国総体県予選（平成29年5～6月、県内高校ほか）県ベスト16/横浜市民大会（平成29年7月、県立希望ヶ丘高校ほか）A：予選敗退 B：予選敗退/長浜ドーム大会（平成29年8月、長浜ドーム）参加29チーム中 A：3位 B：17位/横浜地区秋季大会（平成29年8～9月、市内高校）6位/県新人大会（平成29年10～11月、県内高校）2回戦敗退</p>	棋道部	44名	<p>（将棋）</p> <p>中学：第11回関東中学校将棋団体戦 A級第3位 個人賞 加藤匠真/第3回川崎市小中学校将棋大会 第3位 梅田懐/第13回文部科学大臣杯中学校将棋団体戦神奈川県予選 準優勝（川畑雄仁・梅田懐・島海智洋）、第3位（森岡健太郎・牧田遥翔・片山直）/第24回神奈川県小中学校将棋大会 第4位（川畑雄仁・梅田懐・島海智洋）/第25回神奈川県小中学校将棋大会 第5位（梅田懐・島海智洋・森岡健太郎）</p> <p>高校：第37回神奈川県新開杯争奪王座戦 第5位 糸田昂平/第53回高校選手権大会兼第41回全国高等学校総合文化祭将棋部門神奈川県予選 優勝（加藤匠真・糸田昂平・木村知弘）、全国大会 ベスト16（加藤匠真・糸田昂平・木村知弘）/第30回全国高等学校将棋竜王戦神奈川県予選 A級第5位 糸田昂平/第13回高校生王将戦 第5位 糸田昂平/第26回全国高等学校文化連盟将棋新人大会神奈川県予選 A級優勝 糸田昂平/第29回神奈川県高等学校総合文化祭将棋大会 個人戦 B級第3位 嶋仁、団体戦 第5位（鹿嶋陽希・糸田昂平・加藤匠真）/第28回関東地区高文連将棋大会 出場 糸田昂平</p> <p>（囲碁）</p> <p>第32回関東地区高等学校囲碁選手権大会 団体戦出場（金指伶・式田征史・木津大樹）/第3回神奈川県私立中学校・高等学校囲碁選手権大会 選手権戦第2位（金指伶・式田征史・木津大樹）、A級戦 第2位（齋藤隆信・長谷優樹・入山航己）、B級戦 優勝（塚口涼平・岡崎悠悟・村上信寿）/第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会神奈川県大会 団体戦 第5位（金指伶・式田征史・木津大樹）、個人戦 第5位 金指伶、第7位 式田征史/第12回神奈川県工科大学杯争奪神奈川県高等学校囲碁大会 個人戦 第2位 金指伶、団体戦 準優勝（木津大樹・齋藤隆信・塚口涼平）/第38回神奈川県高等学校秋季囲碁大会 団体戦 優勝（式田征史・金指伶・木津大樹）</p>
ボクシング部	15名	<p>中学：関東アンダージュニア大会県予選（10月29日、11月5日 浅野高等学校）48kg級 栗原颯太（3年）第2位</p> <p>高校：関東選抜大会（1月26～29日 甲府市総合市民会館〈山梨県〉）ライト級Bブロック 1回戦 田島義基（2年）、バンタム級Aブロック 1回戦 星野拓己（1年）、ライトウェルター級Aブロック 1回戦 松村和弥（1年）、ウェルター級Aブロック 1回戦 金古悠希（1年）/東京・神奈川定期戦（2月19日 府中東高等学校〈東京都〉）フライ級 田島義基（2年）、バンタム級 星野拓己（1年）、ライト級 倉地澄人（2年）、ライトウェルター級 松村和弥（1年）※以上全て神奈川県代表として出場/関東大会県予選（4月9日、16日、23日 浅野高等学校）フライ級 第2位 田島義基（3年）、バンタム級 優勝 星野拓己（2年）、ライト級 第2位 倉地澄人（2年）、ライトウェルター級 第2位 松村和弥（2年）、ウェルター級 第2位 竹ノ内尊行（1年）※以上全て関東大会出場権獲得、学校対抗の部 第2位（19点）/関東大会（6月4～5日 日吉体育館〈群馬県〉）フライ級 第3位 米山太葵（2年）、バンタム級 第3位 星野拓己（2年）、ライト級 1回戦 倉地澄人（3年）、ライトウェルター級 1回戦 松村和弥（2年）、ウェルター級 第2位 竹ノ内尊行（1年）/全国大会県予選（6月10日、11日、17日、18日 武相高等学校）フライ級 第2位 米山太葵（2年）、バンタム級 第3位 吉見武久（2年）・星野拓己（2年）、ライト級 第2位 倉地澄人（3年）、ライトウェルター級 第2位 松村和弥（2年） 全国退会出場権獲得、学校対抗の部 第2部（14点）/全国大会（8月4～10日 あいづ総合体育館〈福島県〉）ライトウェルター級 2回戦 松村和弥（2年）/新人大会（10月29日、11月3日、5日、12日 浅野高等学校）フライ級 優勝 米山太葵（2年）、バンタム級 第2位 吉見武久（2年）、ライト級 優勝 松村和弥（2年）、ウェルター級 認定 竹ノ内尊行（1年）、ミドル級 優勝 金古悠希（2年） ※以上全て関東選抜大会出場権獲得、学校対抗の部 優勝（30点）</p>	JRC部	9名	特に報告することはありません。
			ジャグリング部	25名	第7回日本高校生ジャグリング大会 第2位 恒吉優紀
			吹奏楽部	47名	4月 第49回定期演奏会/7月 横浜吹奏楽コンクール 銅賞/9月 文化祭特別演奏会/10月 横浜アンサンブル・コンテスト 2組参加ともに金賞/12月 部内アンサンブル・コンサート
			生物部	37名	火曜、木曜、土曜の週3回の活動、他、校外活動、夏休み2泊3日、館山合宿実施。
			地学部	30名	特に報告することはありません。
			鉄道研究部	38名	第29回神奈川県高等学校総合文化祭 第29回高等学校鉄道研究会発表会 自由研究発表 1位 教育長賞 末政駿（1年）「オフビーク通勤」、写真コンテスト 5位 専門部会長奨励賞 ビュー問太一（3年）「菜の花畑のロマンス」、車両コンテスト 1位 専門部会長賞 田口晴翔（2年）「ポディーはフルスクラッチ！ Train Suite四季島」、ジオラマコンテスト 2位 専門部会長奨励賞 庄子凜（3年）「紅葉深まる渓谷」、3位 専門部会長奨励賞 井上寛土（2年）「高山本線を行く」
			ディベート部	73名	第3回冬期PDA即興型英語ディベート全国大会 準優勝 Aチーム（谷口穂・梅谷正大・伊藤大貴〈高2〉）世界交流大会 進出、1st Best Speaker賞 伊藤大貴（高2）、Breaking Judge Prize 伊勢将人（教諭）/第11回全日本高校模擬国連大会 スロバキア大使 優秀大使賞（水口幸生〈高2〉・高田陽一郎〈高1〉）世界大会（in NY）出場決定/第12回HenDA準備型英語ディベート神奈川県大会 準優勝 Aチーム（野村勇太〈高1〉・飯田優太郎〈高2〉・岩本悠佑〈高2〉・谷口穂〈高2〉）/第3回夏季PDA即興型英語ディベート全国大会 全勝&全国優勝 Bチーム（植田歴〈高1〉・梅谷正大〈高2〉・伊藤大貴〈高2〉）、Second Best Speaker賞 伊藤大貴（高2）、教員チーム3位入賞 & Great Judge Prize 伊勢将人（教諭）/第1回全国高校教育模擬国連大会 オーストラリア大使 優秀大使賞 水口幸生（高2）・高田陽一郎（高1）、フランス大使 優秀大使賞 堀江悠希（高1）・増山龍星（高1）、アメリカ大使 優秀大使賞 西本知貴（中3）・中山大河（中3）、ブラジル大使 優秀大使賞 三浦慶（中3）・柳澤岳（中3）/2017年HPDUパラメンタリーディベート大会 5位入賞 Aチーム（谷口穂・梅谷正大・伊藤大貴〈高2〉）/模擬国連国際大会（GCIMUN）in New York 出場（小塚慶太郎〈高3〉・宗武陸〈高2〉）/第3回レジェンド・カップ 即興英語ディベート大会（PDA型）2nd Prize 大澤颯騎・岩本悠佑（高2）
			美術部	22名	活動実績（2016年12月から2017年12月まで） 部活動見学体験会と文化祭での作品展示および来場参加型ワークショップの開催。展示内容は部員が各自のテーマで制作したデッサンや油彩・水彩を中心とした絵画作品、紙やスチレンボードを素材とした立体作品など。特に竹永高一郎（中1）による風景油彩、濱田清遠（高2、部長）によるゼロ戦金属模型、早川海生（高2）の細密デッサン、大竹平雅（高2）の住宅建築模型は力作であった。ワークショップは消しゴムハンコを用いたオリジナルバッグとノートの制作。参加者は用意された無地の紙袋とノートに、消しゴムハンコで自由にスタンプする。事前準備では参加者がスタンプの配置や配色を楽しめるように、部員が協力して多種多様な消しゴムハンコを作成した。（顧問：永浦）
			物理学部	71名	活動日：火・木・土/主に文化祭における展示に参加
			歴史研究部	21名	文化祭「武田信玄」展示/春合宿：甲府の武田関連史跡散策/夏合宿：長野の武田関連史跡散策/巡検：2月 東京（下町周辺・浅草寺など）、5月 山梨（大月・都留周辺・岩殿山など）、6月 山梨（塩山周辺・恵林寺など）、11月 鎌倉（鎌倉周辺・鎌倉宮など）、11月 東京大学史料編纂所訪問/読書会 3学期 笹本正治「武田信玄」（ミネルヴァ書房、2005）、1学期 丸島和洋『戦国大名武田氏の家臣団』（教育評論社、2016）、2学期 西股総生「『城取り』の軍事学」（学研、2013）/第16回城の自由研究コンテスト 新府城の論文・模型を応募→佳作入賞
野球部	76名	<p>中学：神奈川県中学校春季野球大会 優勝/神奈川県中学校秋季野球大会 準優勝</p> <p>高校：第99回全国高等学校野球選手権大会神奈川県大会 1回戦敗退/神奈川県高等学校秋季野球大会横浜地区予選 代表決定戦敗退</p>			
ラグビー部	22名	特に報告することはありません。			
陸上競技部	21名	<p>中学：8月 中学私学大会 100m中2 第1位 高村優太（2年）11秒92・第8位 大橋秀旭（2年）12秒63、400m 第4位 土屋諒（3年）56秒71</p> <p>高校：6月 全国高校総体陸上競技関東大会 三段跳び 第10位 星野祐輝（3年）14m08/10月 高等学校新人戦県予選 走幅跳び 第18位 小田敏生（2年）6m24</p>			
演劇部	11名	<p>中学：第13回神奈川県私立中学校演劇コンクール 最優秀賞（5年連続9回目の）/第55回神奈川県中学校演劇発表会 神奈川県立青少年センター館長賞および神奈川県中学校文化連盟会長賞（分かりやすくいと、2年連続 第3位）/第26回横浜市ジュニア演劇ワークショップ&コンテスト 優秀賞</p> <p>高校：第25回横浜ジュニア演劇ワークショップ&コンテスト 審査員特別賞/第30回横浜市高等学校春季演劇発表会にて優秀賞・衣装賞・最優秀演技賞（藤倉将矢）・優秀演技賞（佐藤政凱）の4冠/第24回神奈川県私立高等学校演劇発表会 優秀賞、俳優賞（2年連続山田拓生）/第54回横浜市高等学校演劇発表会（第56回神奈川県高等学校演劇発表会横浜大会） 優秀賞</p>			
化学部	33名	定期的な活動 火・木・土/活動内容 化学実験及び研究結果の報告プレゼン・化学の講習会及び確認試験・文化祭展示（展示アミューズメント部門3位）及び実験体験/発行物 部誌アボガド・文化祭用研究・実験パンフ/化学グランプリ 金賞 中川蒼			

委員会から

財 務

昨年は、国内では、人手不足に端を発する働き方改革が話題の焦点となりました。日本の基幹産業である自動車産業も、パリ協定が定める環境目標を達成すべく電気自動車の普及が喫緊の課題となり、大きな変革期を迎えています。海外では、超金融緩和から順次正常化への道筋が明らかとなりつつあります。日本の金融超緩和も、そろそろ転換の時期が近づいています。

こうしたなかで、学園はあと2年で創立100周年を迎えます。その日まで確固たる財務基盤を維持拡充し、同窓会として母校に然るべき貢献ができるよう、「九転十起」の精神で健全な財務運営を心がけたいと思います。

(財務委員会委員長 45期 湧井敏雄)

総 務

浅野学園が2年後に、創立100周年を迎えようとしています。同窓会としても出来る限りの協力をお願いしております。併せて同窓会としても、何か記念グッズを作りたいと考えております。

同窓会総会への若い人達の参加が少ないことは残念ですが、何とかして、若い人達の参加を増やす工夫が必要だと思っております。昨年の文化祭での同窓会の部屋では、若手卒業生による、進路相談コーナーが設けられ、それなりの成果があったことと確信しております。このように新しい取り組みをしていくことが、同窓会の活性化には必要なことと思っております。まもなく卒業して半世紀、いつまで同窓会のお役にたつか分かりませんが、微力ながら頑張りたいと思っております。(総務委員会委員長 46期 中島賢司)

親 睦

平昌オリンピック、日本選手の活躍が日本に力を与えてくれました。特にフィギュアスケートの羽生結弦選手の金メダルは重かった。3か月前の大けがを克服しての金は、これぞまさにスケートだけに、九転十起！浅野出身なのかと思うくらい

凄かった。

同窓生の皆さん！6月2日の土曜日に横浜から歩いて5分、ホテル・キャメロットジャパンに集合！恒例の「浅野学園総会並びに懇親会」を開催します。同窓会親睦委員長を勤めさせて頂いております48期の原茂男です。

昨年の懇親会では教えて頂いた先生方やたくさんOBのご参加をいただき、浅野セメントブルースバンドの演奏のもと、ボーカルの千晶さんの素敵な歌声が我々浅野ファミリーの心を癒してくれました。そして当時の仲間や先生方と楽しい時間を過ごしました。

今年も中村会長のもと、大好評だった千晶さんと、今や嵐のメイン奏者であるサクスの海野あゆみを迎え、浅野学園100周年に向けて何がベストなのか？を皆様と考えてゆきたいと思っております。どうぞ遠慮なく皆様のご意見をお聞かせ下さい。委員会メンバー一同ほとんど無い智恵を絞って頑張ります！

これからも何度スベっても最後には笑顔で帰っていただくよう「九転十喜」の心でがんばりますので、宜しくお願い致します。浅野同窓生の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

(親睦委員会委員長 48期 原 成男)

広 報

同窓会のホームページ(HP)を開設してから来年で20年になります。この間の時代の流れは速く、HPの閲覧も昨今はPCよりもスマートフォン使用の意見が多く聞かれます。100周年に向けて、同窓会ではHPの全面改定とスマートフォンでの利用し易くリニューアルします。今年中に実行予定ですが詳細は次号にてお知らせ致します。

中村順一同窓会会長がエッセイ『これだけは世界に発信したい日本についての18章』を上梓されました。WEB版で第5章までは無料でご覧になれます。現在、英語版を執筆中とのことですが是非ご覧になってください。

(広報委員会委員長 48期 佐藤夕祐)

- 財務 湧井 敏雄
- 45期 青木 暁
- ※67期
- 総務 中島 賢司
- 46期 栗原 隆
- 30期 横溝 貢
- 31期 菅野 悦雄
- 31期 菅野 瞭一
- 40期 吉澤 和美
- 44期 大平 康
- 46期 新井 保幸
- 49期 関野 真二
- 53期 熊澤 彦彦
- 56期 村椿 泰彦
- 65期 西田 慎也
- ※61期 古梶 裕之
- ※64期 堤 敬哉
- 親睦 原 成男
- 48期 大山 豊造
- 20期 上杉 政勝
- 29期 菜花 衛
- 36期 小池 典
- 38期 池田 政弘
- 40期 小沢 治雄
- 42期 長井 勉
- 44期 高橋 洋一
- 48期 秋本 義人
- 48期 片倉 正一
- 51期 小此木 歌蔵
- 52期 佐藤 義賢
- 54期 餅田 一男
- 57期 風間 秀規
- 65期 高井 大輔
- 75期 石垣太三郎
- ※50期 金子 久雄
- ※80期 齋藤 琢斗
- 広報 佐藤 夕祐
- 48期 山口 秀男
- 38期 石堂照日子
- 44期 酒井 晴雄
- 45期 石土 秀貴
- 48期 萩原 壽昭
- 48期 萩原 泰彦
- 49期 細野 雅一
- 49期 萩原 悦生
- 55期 富田 淳一
- 58期 都築 太郎
- 85期 藤田 俊洋
- ※74期 小林 薫
- ※79期 東海林

(委員名の太字は委員長、※は在校幹事)

●平成28年度 同窓会収支報告 ● (単位：千円)

(支出の部)		(収入の部)	
項 目	金 額	項 目	金 額
管理事務費	1,587	会 費	1,858
事業費	3,545	終身会費	5,767
積立金	1,500	積立金取崩収入	0
予備費	0	預貯金利子	0
次年度繰越金	1,943	雑収入	219
		前年度繰越金	731
合 計	8,575	合 計	8,575

●平成29年度 同窓会役員 ●

期	役 職	氏 名
31	名誉会長	石橋 義史
30	会 長	中村 順一
40	名誉顧問	淡路 雅夫
46	名誉顧問	阿部 義広
50	顧 問	前田 涉
36	副会長	加藤 勇治
45	副会長	古川 高夫
48	副会長	齊藤 清紀
	副会長	山田 啓太
45	会 計	湧井 敏雄
	会 計	岩崎 正樹
45	監 事	岩崎 雅樹
53	監 事	広瀬 昌治

総会報告

平成29年度 浅野学園同窓会総会報告

平成29年度浅野学園同窓会総会は、29年6月10日ホテルキャメロットジャパンにて午後5時より開催されました。45期古川副会長の開会の挨拶、物故者への黙祷、30期中村会長のご挨拶、50期前田校長のご挨拶がありました。総会の議長は49期関野氏が、書記は64期堤氏が選任され、議事としてまず最初に46期中島総務委員長から平成28年度事業報告、45期湧井財務委員長から決算報告がなされ、45期長峯氏からの監査報告が了承されました。引き続き29年度事業計画案、29年度予算案がそれぞれ担当委員長から示

され、一同異議なく了承され、最後に48期齋藤副会長の閉会の辞となりました。

そののち会場を同じ階のジュビリーに移して、午後6時より48期秋本親睦委員の司会で懇親会となり、36期加藤副会長の言葉、31期菅野総務委員の乾杯の音頭となり、途中アトラクションとして音楽バンドの生演奏等もあり、最後に45期古川氏が閉会の言葉を述べ、29年度総会は滞りなく終了の運びとなりました。
(総務委員会)

同窓会の案内

同窓会総会・懇親会のお知らせ

6月2日(土)にホテルキャメロット・ジャパンにおいて同窓会総会・懇親会が行われます。スケジュールは以下の通りです。

17:00 総会(5階 ジュビリーⅠ)
18:00 懇親会(5階 ジュビリーⅡ)

同窓会室利用について

同窓会室は当面、委員会活動や同期会の打ち合わせにご利用下さい。
申し込みは各委員会の在職の先生にお願いします。

掲 示 板

No.1 同窓会年度会費(2,000円)納入のお願い

◇「総会案内」と『銅像山通信』に振替用紙を同封しています。

注意……ただし、72期(平成7年3月卒)以降の会員は在学中毎月同窓会費をいただいておりますので、**年度会費は納入されなくて結構です。**

No.2 (学校より)

打越祭 第1部文化祭…9月8日(土)・9日(日)
第2部体育祭…9月19日(水)
(雨天時は翌日以降に順延)

学校説明会 5月19日(土)・21日(月)・
6月30日(土)
7月2日(月)・3日(火)
10月13日(土)

入試説明会 10月19日(金)・20日(土)・

※詳細は学校にお問い合わせください。

表紙絵 結城修先生(芸術科)

◆◆ 編集後記 ◆◆

先日、愛知県犬山市に茶室「如庵」を30年ぶりに訪ねた。その静謐な佇まいは今も変わらずに私を迎えてくれた。そこにいと二畳半台目という狭さを感じさせない居心地の良い空間がある、ときおり静かな音楽が聞こえてくるような。2003年9月、ブラジル音楽・ボサノヴァの創始者Joao Gilberto(ジョアン・ジルベルト)は72歳で初来日し伝説のライブを行った、その囁くような歌声とギターに畏敬の念さえ覚えた。このとき彼を犬山に連れて行きたいと思ったのは間違いではなかった。「如庵」の名は織田有楽斎のクリスチャンネームから付けられたと思われるが、joaoと「如庵」お奨めします。
広報委員長(48期) 佐藤夕祐

『銅像山通信』・第21号

発行日 平成30年4月30日

発行人 浅野学園同窓会

発行所 ㊟221-0012

横浜市神奈川区子安台1-3-1

浅野中学・高等学校

TEL 045-421-3281 FAX 045-421-4080

編集 浅野学園同窓会広報委員会

印刷 ㊟105-8318

東京都港区芝浦1丁目2-3

(株)廣濟堂

TEL 03-5484-8853 FAX 03-5427-8890

〈平成30年度(2018年3月) 大学合格者の学部および現役・既卒別内訳〉

平成30年4月3日現在

国公立大学 (※は公立大学)				
大学名	学部名	現役	既卒	合計
北海道	経済	1	0	1
	総合教育(理)	0	1	1
	理	0	1	1
	水産	1	0	1
	計	2	2	4
旭川医科	医	0	1	1
	工	0	1	1
	理	0	1	1
	経済	0	1	1
東北	医	1	1	2
	計	1	4	5
	社会・国際	0	1	1
筑波	医	1	0	1
	計	1	1	2
群馬	医	1	0	1
	経済	0	1	1
	地域政策	0	1	1
※高崎経済	計	0	2	2
	工	0	1	1
	文科一類	0	1	1
	文科二類	8	3	11
千代田	文科三類	9	2	11
	理科一類	12	0	12
	理科二類	7	0	7
	計	36	6	42
東京工業	第1類	2	2	4
	第2類	0	1	1
	第3類	1	1	2
	第4類	1	0	1
	第5類	6	2	8
	第6類	0	2	2
	第7類	1	6	7
	計	11	14	25
一橋	法	1	0	1
	経済	5	2	7
	商	4	1	5
	社会	2	0	2
	計	12	3	15
東京農工	工	0	1	1
	農	1	1	2
	計	1	2	3
東京医科歯科	医	1	0	1
	歯	1	0	1
	計	2	0	2
東京外国語	国際社会	1	0	1
	情報理工	2	2	4
電気通信	海洋生命科学	1	0	1
	海洋資源環境	0	1	1
	計	1	1	2
東京芸術	美術	0	1	1
	理	0	1	1
	計	1	1	2
横浜国立	経済	2	1	3
	経営	1	0	1
	都市科学	2	1	3
	理工	3	1	4
	計	8	3	11
※横浜市立	医	3	0	3
	新	1	0	1
富山	理	0	1	1
	岐	1	0	1
浜松医科	医	1	0	1
	薬	0	1	1
※静岡県立	農	1	0	1
	工	1	0	1
名古屋	理	1	0	1
	工	1	0	1
	農	2	0	2
	医	0	1	1
	計	4	1	5
大阪	工	1	0	1
	理	1	0	1
	計	2	0	2
※奈良県立医科	医	0	1	1
和歌山	経済	0	1	1
愛媛	医	1	0	1

準大学 (文科省管轄外の学校)				
大学校名	学部名	現役	既卒	合計
防衛医科	医	1	1	2

私立大学						
大学名	学部名	現役	既卒	合計		
慶應義塾	法	4	2	6		
	経済	22	6	28		
	商	24	6	30		
	文	4	3	7		
	理工	44	8	52		
	医	3	1	4		
	薬	2	1	3		
	総合政策	5	3	8		
	計	108	30	138		
	早稲田	政治経済	8	6	14	
		法	3	4	7	
		商	7	5	12	
		教育	5	3	8	
		文化構想	0	2	2	
社会科学		3	5	8		
基幹理工		18	7	25		
創造理工		10	3	13		
先進理工		11	3	14		
人間科学		1	4	5		
上智	スポーツ科学	0	1	1		
	計	66	43	109		
	文	2	0	2		
	外国語	2	1	3		
	法	1	1	2		
	経済	1	5	6		
	総合人間科学	1	1	2		
	総合グローバル	0	1	1		
	理工	3	2	5		
	計	10	11	21		
東京理科	理	9	8	17		
	工	7	12	19		
	理工	21	9	30		
	基礎工	1	3	4		
	薬	0	1	1		
	経営	3	2	5		
	計	41	35	76		
	立教	経営	1	0	1	
		経済	0	1	1	
		法	1	1	2	
現代心理		0	1	1		
観光		1	0	1		
社会		1	0	1		
理		1	0	1		
計		5	3	8		
中央		法	5	10	15	
		経済	3	3	6	
	商(フレックス)	2	0	2		
	文	1	1	2		
	理工	0	1	1		
	計	11	15	26		
	明治	経営	3	1	4	
		国際日本	0	1	1	
		商	5	4	9	
		コミュニケーション	1	1	2	
政治経済		10	8	18		
文		3	1	4		
法		1	5	6		
理工		13	18	31		
農		3	1	4		
計		39	40	79		
青山学院	法	0	1	1		
	文	1	0	1		
	教育人間科学	1	1	2		
	経済	1	0	1		
	経営	0	1	1		
	理工	0	2	2		
	計	3	5	8		
	法政	文	3	4	7	
		法	0	3	3	
		経営	0	1	1	
経済		0	4	4		
社会		0	2	2		
理工		0	2	2		
計		3	16	19		
学習院		経済	1	0	1	
		文	1	0	1	
		計	2	0	2	
明治学院	経済	0	1	1		
	心理	1	0	1		
	計	1	1	2		
日本文学	危機管理	1	0	1		
	経済	1	2	3		
	生物資源科学	2	0	2		
	理工	2	2	4		
	文理	1	1	2		
	医	1	0	1		
	計	8	5	13		
	東洋	法	0	1	1	
		経済	0	1	1	
		計	0	2	2	
		専修	経営	0	1	1
			工	3	3	6
			システム理工	1	0	1
			建築	1	4	5
計			5	7	12	
芝浦工業		工	2	2	4	
		メディア情報	1	0	1	
	計	3	2	5		
	東京都	法	1	0	1	
		経営	1	0	1	
工		1	2	3		
理		1	0	1		
計		4	2	6		
神奈川	農	3	1	4		
	地域環境科学	1	0	1		
	計	4	1	5		
	成城	経済	1	1	2	
		法	0	1	1	
社会イノベーション		0	1	1		
計		1	3	4		
成蹊		経済	0	1	1	
	経済	0	1	1		
	経営	0	1	1		
	計	0	2	2		
	玉川	経営	0	1	1	
経済		0	1	1		
人間開発		0	1	1		
計		0	2	2		
國學院		総合教養	0	1	1	
	政治経済	0	1	1		
	経済	0	1	1		
	経済	0	1	1		
	工	0	1	1		
東京工大	理工	1	0	1		
	計	1	1	2		
	千代田	メディア	0	3	3	
		医療保健	2	0	2	
		計	2	3	5	
情報科学		0	2	2		
先進工		0	2	2		
	計	0	4	4		
立命館	文	0	1	1		
	社会	1	0	1		
	経済	0	1	1		
	社会	0	1	1		
	医	0	1	1		
同志社	医	1	1	2		
	薬	1	0	1		
	計	2	1	3		
	関西学院	医	4	2	6	
		東	1	0	1	
京		3	1	4		
杏		0	1	1		
林		0	1	1		
関西学院	医	0	1	1		
	医	0	1	1		
	医	0	1	1		
	医	0	1	1		
	医	0	1	1		
順天堂	医	1	1	2		
	薬	1	0	1		
	計	2	1	3		
	北里	医	4	2	6	
		東	1	0	1	
京		3	1	4		
杏		0	1	1		
林		0	1	1		
聖マリアナ	医	0	1	1		
	帝	0	1	1		
	京	0	1	1		
	日	0	2	2		
	本	0	1	1		
大阪	医	0	1	1		
	獣	0	2	2		
	命	1	0	1		
	歯	0	1	1		
	科	0	1	1		
昭和	薬	0	1	1		
	星	0	1	1		
	薬	0	1	1		
	東	1	0	1		
	京	1	0	1		

国立大学	現役	既卒	合計
前期	83	36	119
中期	0	2	2
後期	10	9	19
公募推薦	2	0	2
AO	0	2	2
計	95	49	144
(医学部医学科)	(11)	(3)	(14)
準大学	1	1	2
私立大学	330	258	588
海外大学	0	0	0
全大学合計	426	308	734